

テーマ17 オリンピズムと文化

革新と感動

まばゆいほどの祭典と申し分ない舞台
若さと世界文化をたたえる世界文化の中心
活発な教育を通じてオリンピック精神を浸透させる

17.1 文化祭典的な催し

「何者もそれ自身で完全な島であるものはいない。すべての人は大陸の一部であり、大海の一部である。」

これは、約400年前、ルネサンス期のイギリスの詩人ジョン・ダンによって書かれた詩です。今日、この詩は、オリンピックの文化的および教育的プログラムをより広い世界と結ぶためのロンドン2012年招致委員会の着想の原点となっています。このプログラムはまた、オリンピック競技大会によって可能になったロンドン東部の復興の記念ともなります。

島国である英国は、オリンピックの価値を利用して、自国のコミュニティ間および自国と他の国々との間を結ぶ架け橋を作るために専心します。英国の豊富な海洋遺産に基づいて、2012年の文化的および教育的プログラムと開会式、閉会式では、航海と発見、創造力と多様性、コミュニティにおける個人の尽力、平和および地球への配慮を強調します。

首都、そして主要な港町であるロンドンには常に、海外からもたらされる人材や概念、情報、品物を歓迎する場所でした。その結果、ロンドンは極めて多様性に富んでいます。700万人の人々の間で話されている言語は300にも上ります。このような多様性は創造力を刺激します。ロンドンにはほかのどの都市よりも多くの劇場、交響楽団、バレエ団、芸術グループがあります。

ロンドンは、文化的および教育的プログラムを通じてオリンピックの理念を生活にも普及させます。これには、公式祝賀会、シティセンターでのあらゆる種類のコンサート、豊富なコミュニティ・イベントがあります。

ロンドンにはまた若者の町でもあります。ロンドン住民の3人に1人が24歳以下です。大会では、彼らのエネルギーが世界の若者の祭りを活気づけ、クーベルタン男爵が提唱したオリンピズムの哲学を守ります。

オリンピズムを統一されたドラマチックな方法で伝えるために、ロンドン2012年招致委員会は、オリンピックフレンドシップ号というコンセプトを提案します。すなわち、専門航海士らの指揮の下、若者、芸術家、哲学者、学生が集うフルサイズの外洋航行帆船です。この船は、2008年の北京大会で出航し、2012年の大会に先駆けて世界各地を回ります。これと並行して、仮想の客船もインターネットという海を航海して、英国の学校のための全国カリキュラムにリンクされた4年間の教育プログラムの基礎を固めます。

オリンピックフレンドシップ号の航海は発見の旅で、英国の文化の豊かさを象徴する積み荷を運びます。訪れる国々は、実際に、またはWebサイトから仮想的に、船の積み荷として何らかの貢献を果たすことができます。英国は、この航海での言葉や物の交換、創造と共有を通じて、世界各国の文化との関係を見直し、開催都市としてのロンドンの新しい役割を各地に広めます。

大会に先駆けて、オリンピックフレンドシップ号はテムズ河をさかのぼり、新しいオリンピック公園につながるテムズ河支流のリー川の河口まで凱旋航行します。船の到着は、ロンドン東部の正式な復興宣言です。

オリンピックフレンドシップ号とこれが表現する思想は、2008年大会のために北京によって最終的に選択された文化的なテーマ「Setting sail on a journey of hope（希望の船出）」からの発展を意味します。

開幕・閉幕式 - 旅と航海

英国のクリエイティブ産業は、その優秀さに対して世界的な評判を得ています。この創造力を開会式と閉会式に存分に生かします。

開会式では、世界クラスの監督、アーティスト、照明エンジニア、手品師、カーニバリストの才能を集結させて、オリンピック・スタジアムを夢のような美しさ、ウィット、わくわくするような驚きで埋め尽くします。彼らのスキルによって、英国の海洋遺産などに顕在するすべての力の探究と発見を祝う式典が催行されます。

選手の入場は、英国のトップ・クラスの演出家らの演出能力の助けを借りて特に注目を浴びるものにします。

英国には王室の儀式や野外劇の長い伝統があります。これを生かして、オリンピックの式典のあらゆる慣習（IOC会長の式辞、女王による宣言、聖火の点灯）を忠実に守り、完璧に催行します。

開会式終了直後もオリンピック公園の周囲でショーを引き続き開催します。カーニバルのダンス、ミュージシャン、サーカス団が開会式で高揚した雰囲気を保ち、ロンドン大会期間中の雰囲気作りを行います。

閉会式も同様にドラマチックな演出となります。閉会式は、ロンドン市民と大会主催者に感謝する式典です。また、選手とその功績を称えるとともに、選手が緊張をほぐし、大会を振り返りながら心から楽しめる時間を与えます。

閉会式は、オリンピックの旅の次の目的地に敬意を払って終了します。友情のこもった別れの贈り物として、ロンドンが持つ演劇の専門知識を次の開催都市に引き継ぎます。

メダル授与式 - 多彩な方法で功績を称える

表彰式は、英国の野外劇の経験を生かして、ロンドンの数多くのコミュニティの文化的な伝統だけでなく、イングランド、北アイルランド、スコットランドおよびウェールズの伝統から着想した方法で催行します。

聖火リレー：平和の使者

聖火リレーは、IOCの承認を得て、古代の慣習 Spondophoroi（平和の使者）を形象化します。

リレーは、「オリンピック停戦」を強く訴えるために、ノーベル平和賞の受賞者の母国を通過し、紛争地域をオリンピックの平和のメッセージで感化する希望と和解の国際的な旅になります。

英国はしばしば音楽を利用して統一の価値を強調してきましたが、2012年にも、最も重要な音楽フェスティバル（グラストンベリーからグランドボーンまで）が聖火リレーの通過ポイントになります。ここでは、人々がともに平和になる上での文化とスポーツの共有の役割を実証します。

オリンピック村での歓迎式：橋を渡って

川岸に設置されるロンドンのオリンピック村は、水でつなぐというテーマを継続する歓迎式を開催するのに理想的な場所です。

歓迎式に参加する各国の選手団は、全参加国の国旗を映し出す電光板の列に架けられた特設の「歓迎の橋」を渡ります。その際、歓迎を受けるチームの国章が特に目立つように映し出されます。選手団は、政府高官だけでなく英国のトップ・アーティストや芸能人からも歓迎を受け、スポーツと文化の力を信じてオリンピックを創設したクーベルタン男爵の理念をあらためて認識することになります。

その他の文化的イベント：反響を広める

オリンピック競技大会とパラリンピック競技大会がやってくると、ロンドンにはエネルギー、情熱、そして興奮があふれます。トラファルガー広場やコベントガーデンなどの公共の場（川岸の商店街や市内にある数多くの公園も）は、音楽の生演奏、喜劇、花火、オリンピックの模様を熱狂的な観衆に伝える巨大スクリーンの舞台となります。オリンピック観戦のために訪れた人々は誰もが、その熱いエネルギーを目の当たりにして、なぜロンドンが世界の若者に人気のある目的地であるかをはっきりと認識します。

オリンピック公園でも、観客が競技と競技の間に楽しめるように、多彩な文化イベントが開催されます。また、オリンピック村でも、選手が競技中ではないときにさまざまな文化を体験できるように音楽、展示、ライブ、特別なパフォーマンスが開催されます（ほかの選手のじゃまにならないように防音壁を設けます）。

ロンドン東部の復興を開始するために、2012年は、新しく生まれ変わったワー・リバーの水路、橋、通りを舞台にした世界の若者の文化フェスティバルの幕開けになります。ストリートダンス、ファッション、音楽、デザイン、都市型スポーツのディスプレイは、ロンドンの若者文化のエネルギーと創造力を鮮やかに投影します。

ロンドン東部にあるピクトリアパークとロンドン西部にあるハイドパークは、一般的な式典を開催するための中心的な場所です。これらの会場では、ロンドンの芸術と文化を展示します。イベントとしては、ポピュラーやクラシックのコンサート、映画、演劇があります。また、大会期間中毎日、メダル受賞者の発表も行います。

祝賀気分はロンドン全体に広がります。世界的に有名な文化機関は、オリンピック競技大会を祝して、ロンドンで初の世界文化博覧会を主催します。特記すべきものとしては、次のものがあります。

- ・ ロイヤル・アルバートホールとBBCは、2012年に、大会と時を同じくして、オリンピック・プロム月間を設けます。
- ・ ロイヤル・シェークスピア・カンパニーとシェークスピアの海外劇団は、一連の国際的な上演作品を主催します。たとえば、ナイジェリアの「ジュリアス・シーザー」、日本の「リア王」、ロシアの「マクベス」などがあります。
- ・ ロンドンの美術館は、世界の芸術作品や工芸品の主な展示会場になります。この「ファイブリングス・エギジプション」は5大陸から着想したもので、特別招待チームが主事を務めます。

オリンピック競技大会からパラリンピック競技大会まで祝賀気分を維持するために、5日間のオリンピック・カーニバルを開催します。この種のイベントとしてはヨーロッパ最大のロンドンのノッティングヒル・カーニバルから着想したこのイベントは、大衆参加による世界統一というオリンピックの理念を普及させます。

大会の開催は、英国全土で、特にオリンピック関連のイベントを主催するロンドン以外のコミュニティで祝賀気分を盛り上げます。グラスゴーからウェイマスまで、またカーディフからマンチェスターまで、地方の人々は、大会期間中、スポーツに対する熱意と歓喜を表します。

17.2 開会式と閉会式の会場：オリンピック・スタジアム

開会式と閉会式は、オリンピック公園の中心にあるオリンピック・スタジアムで開催します。この目的で建設された建物は、80,000名を収容することができます。

17.3 教育プログラム：オリンピックの理念を推進する

教育は発見の航海です。英国の子供たちは、教育技能大臣の承認を得て、オリンピックフレンドシップ号上の4年間の仮想旅行に旅立ちます。オリンピズムは、すべての分野にわたって創造力に富んだ教育と学習を促進します。生徒は、体、意志、心のバランス、努力によって得られる喜び、優れたモデルを見て学ぶメリット、道義心の尊重、差別のないスポーツ、友情、団結およびフェアプレイの価値など、最大範囲のオリンピックの理念を経験します。これらの理念は、大会に先駆けられた教科横断型（総合的な）学習プログラムの基礎を築きます。大会閉幕後、これらは、ロンドンオリンピック研修センターの学術的および文化的活動にまとめられます。

さらに、オリンピックフレンドシップ号の航海は、多数のイニシアチブを鼓舞し、強化します。

- ・ 国際的環境ネットワークであるWWFとの提携による小学校プログラムでは、オリンピックフレンドシップ号の寄港地の環境を学習します。
- ・ ロンドンの学校の生徒の多くはバイリンガルです。オリンピック言語プログラムでは、中学生が親から受け継いだ言語と文化をほかの子供たちに教えることを奨励します。約束は理解と友好を導きます。

- ・ 英国のグローバルゲートウェイ(既存のWebサイト。各学校の国際的で有益なインターネット・リンク構築を支援。)では、特製の「オリンピックの鎖」が作られます。やがてこのプロジェクトは、世界中のほかのオリンピック研究施設に接続しているルーブル大学のオリンピック調査研究センターに接続されます。
- ・ 英国オリンピック財団と提携して開発された学校向けの特別な教育パックはオリンピックの友情の船の航海を利用して、オリンピックの歴史と価値を学びます。これには、競争の哲学、栄養化学、デザイン技術などの問題に関する討議科目が含まれます。さらにこれは、「オリンピックデー」の活動への参加を奨励し、IOCの教育イニシアチブの詳細を普及させます。
- ・ 教育技能省は、英国の最も恵まれない地域の若者を豊かにし、育成する活動を開始します。この「若者大使プログラム」は、言語能力と対人関係能力を発達させ、大会のボランティアとして活躍する参加者を養成します。
- ・ 新しいオリンピックの特徴を教育技能省によって実施されている既存のプログラムに組み込みます。'London Student Pledge(ロンドン学生誓約)'は、400,000名の学生を対象として、学生がスポーツや文化活動に参加するための資格を与えます。

2012年のロンドン大会のためのオリンピック・ユース・キャンプは、オリンピックの友情の船上で実施されます。このユニークな会場は、テムズ河の中のリー川の河口で停泊し、大会やロンドン東部のコミュニティにも隣接しています。

世界中から参加する学生はこのキャンプで、ロンドン2012年招致委員会の招致の根拠を与える哲学、すなわちオリンピズムの真の精神によって、多様な文化に触れ、その違いを認め合うことの重要性を体験します。

連帯の精神は、ロンドンの日常生活を形作っています。2012年のオリンピック競技大会およびパラリンピック競技大会の開催都市として選定される荣誉に浴せば、ロンドンはこの生活スタイルを世界と共有できることを心から歓迎いたします。